

田 土 管 第 4 7 9 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

田川市長 伊藤信勝 印



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の
件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県 田川市

- ①高速自動車道に主眼を置いた施策から地方が本当に必要としている道路整備へシフト出来ないのか。
- ②道路特定財源を確保し、地方交付税を増額出来ないか。
- ③田川市～福岡市の道路整備を実施しているが、一般道路的な整備のため、B/C の効果が少ない「4車線化を早急に」

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

福岡県 田川市

○現状

市道(約371km)の維持管理については、予算が限られているため、問題を先送りせざるを得ない状況である。また、主要道路の整備も遅延している。

○課題

福岡市、北九州市へのアクセス道路である国道201号、322号バイパスの早期完成の促進

②－２ 地域の目指すべき将来像

福岡県 田川市

本市は、石炭産業により日本経済発展の一翼を担い発展してまいりましたが、国策により燃料が石炭から石油に取って代わり、市産業の衰退が著しく大変厳しい状況となっている。しかし、この遺産を世界に向け発信し、世界遺産登録を目標に市民と協働推進している。

（現在、三井田川鉱業所の二本煙突と伊田竪坑櫓が「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産暫定リスト入決定）

また、新北九州空港開港により、今後新しい経済圏が形成されることが想定されるため、本市発展の機会と捉え白鳥工業団地を中心として国道へのアクセス道路を整備し、企業誘致を積極的に推進し地域再生を目指している。

様式 ④

福岡県 田川市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(例) ・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	①国道から主要市道への交差点改良を国の事業で。 ②県道田川直方バイパスを延伸し、国道201号線と国道322号線バイパスを接続する。 ③県道八女・香春線の国道昇格と整備 ①案内標識の見直し	①B/Cが大きくなる ②近隣の町村も含め地域再生効果が大きい ①交通安全対策の充実が図れる	○○○○ △△△△
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・ ・ ・	①地域にあった道路構造の確立 ・ ・ ・	①地方にとっては有効活用の幅が広がり、社会資本の整備が推進できる ・ ・ ・	□□□□ ・ ・ ・